

第 41 回 下呂市上下水道運営委員会

【議事録】

1. 開会（事務局 次長 谷田部武一）
2. 会長あいさつ
3. 議題

議題（1）水道料金改定について

【事務局説明】 上下水道課長 戸谷直樹

- ・水道事業の経営戦略を作成するにあたり財政シミュレーションを行った。
- ・今後の水道事業の財政状況の推移を資料に基づいて説明。

（委員からの意見）

Q、（委員）

このシミュレーションに人口の変化はどのような形で組み込んでいるのか。

A、（上下水道課長）

現在の人口減少率を算定しており、一般家庭の料金収入の減少を踏まえシミュレーションしております。

料金改定を行い、今後の水道事業において施設更新等の為の資金は貯めておきたいところです。ですが、料金改定には市民への負担が増えることに繋がりますので、料金改定幅は最低限に留めていきたいと考えています。

（会長）

今回示されている財政シミュレーションを見ると料金改定が前提となっている。事務局と事前の打ち合わせでは、今後の情勢や物価上昇を想定すると、運営が非常に厳しいものとなるため、あくまで今回参考として料金改定を含む財政シミュレーションを示すということだったので理解していただきたい。

（有識者）

今回の説明の流れが良くなかったかと思う。現在の経営状況の流れでは令和 18 年には資金ショートしてしまう為、その対応策として 5%アップの料金改定という話になってくる。気になるのは、なぜ令和 22 年までしかグラフが無いのか。市民へ充実した水道利用を叶

える為に 50 年先程度まで想定する形にした方がいいのではないかな。目的が先にあってから料金の改定になっていくことが重要だと思う。そのうえで委員と料金改定の設定を議論できればいいと思う。

(上下水道課長)

今回の資料は、水道事業で今後赤字になる可能性があることが判明したためお示ししたものです。市としましては、料金を改定すればいいという話ではなくこの先、施設の効率化などを検討したうえで、料金改定での対応をせざるを得なくなった時には委員の皆様にも再度ご説明させていただきます。

(有識者)

委員からどのような意見が欲しかったのかを明確にしたうえで議題を示した方がいいと思う。今回の議題のタイトルが「水道料金改定について」となっているため、今後の展開についての議題にした方がわかりやすい。今回は財政シミュレーションを示すという報告事項なので議題ではない。議論の方向性を示してもらえるといい。

今回のシミュレーションに耐震工事を東上田のみ想定に入れているのはなぜか。下呂市で想定されている耐震事業計画の全てを入れたシミュレーションをすべきだと思う。更に現在のシミュレーションよりも長期的に子・孫世代の未来の水道のための料金改定などを議論した方がいいと思う。

議題(2) 合併浄化槽転換事業について

【事務局説明】次長 谷田部武一

- ・合併浄化槽転換事業の必要性と現状報告
- ・一世帯当たり年間 20,000 円の補助金支給案の提案

(委員からの意見)

Q、(委員)

20,000 円の補助金を想定した場合、財源はどこか。

A、(次長)

下水道事業会計を財源とします。

Q、(委員)

下水道は国の指針で始めたものであるため、このような財政状況になったのには国の責任も含まれたのではないかな。国から手当等を支給してもらうことはできないのか。

A、（次長）

合併浄化槽転換が全国的にみて取り組んでいるのが稀です。最近は転換事業に関する指針は定められましたが、具体的な制度などは決まっておりません。

（委員）

現在、合併浄化槽を使っている世帯に対しての補助金が無いというのは、その世帯から意見がでると思う。地域住民にとって、不公平であると思う。

合併浄化槽転換が現在、住民の反対によって停止していることに関しては、ある程度強制的に動いてもいいと思う。

Q、（委員）

20,000 円の補助金は未来永劫支給するのか。

A、（次長）

そうです。（※注 1:補足説明あり）

（委員）

それはおかしいと思う。今、合併浄化槽を所有している世帯と不公平感があり説明がつかない。やり方が乱暴だと思う。

（委員）

下水道布設した当時、地域によって勾配などで工事費がかさむ地域は下水道の布設ではなく、合併浄化槽を進められた。当時の説明は今の説明のような乱暴さはなかった。

（有識者）

お金の整理の仕方が良くない。年間 1.7 億円の支出が抑えられるというのは行政の経営上の話であるため。それぞれの利用者負担と比較ができない。1.7 億円の支出減と補助金の繋がりがみえない。

340 件の浄化槽を市で管理できないのか。料金は下水道料金としてとるという形ではダメなのか（公設型浄化槽）。実際排水は浄化槽で処理するが、従来通り下水道料金を納めてもらう。これであれば、利用者の経済面に変わりはない。340 件に対し適用してみるというのが解決策の一つとしてあると思う。

和田地区のみ転換している現在の状況もよくないと思う。和田地区の方たちからすれば不公平だと思う。本来は一斉に同条件で開始すべきだった。

（次長）

お示しいただいた公設型浄化槽という選択肢もあります。今回提示させていただいた補助金制度は、現状転換が進んでいない中での打開策の一つです。

(有識者)

上水道は、水のクオリティが密接に利用者にかかわるため、よりいい水が配られるために、お金を払うというインセンティブが働くが下水を綺麗にするのは、市全体の話になってくる。そこに上水道、下水道の違いがある。だから市全体で下水処理を管理するという形はあっていると思う。その中で今回の案では、補助金として年間総額の約7,000,000円を払うことになるが、その支出を公設型浄化槽で実施する際の業者への委託費に充てられないのか。全体的な視点で議論した方がいいと思う。

(次長)

制度設計していく中で、皆様からご意見をいただいたうえでいい制度にしていければいいと思っています。

(有識者)

下呂市は上下水道に対してすごく前向きな市だと思います。この先大事なものは公平性と環境を良くしようとする発想の両立だと思う。そこを意識してほしい。
今後下呂市で、合併浄化槽の世帯（現在下水道区域外の世帯）も下水道接続している世帯も一律で下水道料金を払い、処理方法は違っても市全体で水を綺麗にしようという取り組みが自治体単位でできたら環境都市としてアピールできいいと思う。

Q、（委員）

人口減少についてはどのように考えているか。

A、（次長）

合併浄化槽転換は人口減少を見据えた政策と、ご理解いただけると幸いです。

(委員)

合併浄化槽にも耐用年数があると思うが、もし交換や修理となった時に公設型浄化槽だと問題が出てくると思う。モデルケースなどを作って要検討することが必要だと思う。

議題（3）令和7年度決算状況及び令和8年度予算について

【事務局説明】上下水道課 岩田・中川

(有識者)

この報告をどう我々がどう受け取ったらいいかわからない。

Q、（有識者）

下水道事業で下水道事業収益と費用に大きな差があるのは、経営が成り立っていないという形で受けとっていいか。

A、（次長）

はい。厳しい経営状況であることは、ご理解していただきたいです。

4. 次回開催予定

次回は令和8年11月に開催予定

・日付は追って決定する。

5. 閉会

※注1:下水道使用料金が合併処理浄化槽維持管理費と同額以上となった場合はこの限りではない事を追加で補足させていただきます。また、今後も当委員会のご意見を頂戴しながら、制度設計の課題と向き合い取り組んで参る所存です。ご指導の程よろしく申し上げます。

※その他:資料2及び資料3は、非公開とすることで委員から了承いただきました。